としょかんだより

令和5年度 10月号

西落合小学校図書館

秋の気配を感じると心が落ち着きます。また秋は学芸会などたくさんの行事があり、心がおどります。落ち着いたり、おどったり、はずんだり…。心は忙しいですね。

ココロココロ

○最近の図書の時間・・・それぞれの学年のこと

1年生

ひらがな、カタカナ、すうじをならった1年生。「ひらがなだいぼうけん」の読み聞かせをしました。夏休みからは読書ノートも書き始め、ますます本に親しんでいます。

2年生

言葉遊びの本を読みました。「あるひあひるがあるいていると」は「あ」がつく言葉だけでお話が進んでいきます。笑い声が聞こえて楽しい読み聞かせになりました。

3年生

「続きはまた今度。」と言うと、「えー!」と大きな声の大合唱になります。「なんでもただ会社」を連続読み聞かせしています。毎週ドキドキの展開です。

4年生

満月の日にはアポロ11号の話「月へ」、次の週はルポタージュの「ゾウの森とポテトチップス」を読み聞かせしました。まずは知ることから。百科事典の引き方も始まります。

5年生

重松清さんの本を紹介しました。「答えは風のなか」という本の「いいヤツ」の読み聞かせでは、主人公の気持ちや友達の言葉や態度にモヤモヤしながら聞いてくれました。

6年生

班ごとに協力して答えるクイズに盛り上がりました。次は宮沢賢治さんの「ツェねずみ」の挿絵を見て、班で話の流れを想像します。どんなお話を想像するでしょうか。

ハロウィンですね。

としょかんまえのろうかにたくさんのまほうのほんがおいてあります。

魔女や魔法が登場する本

魔女ののろいあめ 作:草野あきこ

サキがおねえちゃんの悪口を言いながら歩いていると、「アメや」と書かれた屋台が現れました。黒い帽子をかぶった魔女がサキに「のろいアメ」を差し出します。

アーヤと魔女 作:ダイアナ・ウィン・ジョーンズ

身よりのない子どもたちが暮らす家で育ったアーヤは、ある日魔女の家に引きとられます。こき使われてばかりのアーヤは、魔女に立ち向かう呪文をつくり…。

魔法のゆび 作:ロアルド・ダール

わたしの指は生まれつきの魔法の指。カッとなって右手の人差し指の先がピリピリしてくると、白い光線が。ある日、この指によって大変なことが起こってしまう。

魔女がいっぱい 作:ロアルド・ダール

ぼくはおばあちゃんから言われていたんだ。世の中には魔女がたくさんいて、子どもをねらっているから気を付けるようにと。でもつかまってしまったぼくは…。

モリトリセン

クイズ

答えが分かったらポストに入れましょう。

（　年　組 名前　　）

①「としょかんだより」のタイトルのかざりに、ココロはいくつかくれているでしょう。

こたえ

ここです。→ としょかんだより

②次のシルエットはどの本に登場する魔女でしょうか。ヒントの本は、廊下に掲示しています。

A、

身長1m40cmくらい。とても美しい姿だが…実は…。

B、

黒い帽子にメガネをかけて、カラスを従えている。

C、

8歳の女の子。カッとすると…。